

平成29年関東倶楽部対抗 山梨会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 17倶楽部 ・ 136名)

期日：5月15日(月)

場所：メイプルポイントゴルフクラブ

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	山村 政治	甲斐ヒルズ	石井 重次	メイプルポイント	和田 章正	河口湖	高城 正男	昇仙峡
2	7:39	長坂 正仁	境川	佐野 葉二	富士川	佐藤 和男	秋山	松浦 真吾	富士レイクサイド
3	7:48	山森 恵一	都留	佐藤 隆	都	平本 眞言	中央都留	岩波 肇	甲府国際
4	7:57	清水 喜吉	上野原	川口 健二	ヴァンテージ	片野 由次	オリンピック	安部 俊人	春日居
5	8:06	三枝 寛	北の杜	望月 修	甲斐ヒルズ	大神田 巧	河口湖	岩澤 博夫	境川
6	8:15	原田 知明	秋山	奥富 隆夫	都留	佐々木 均	中央都留	吉村 誠治	上野原
7	8:24	榎本 幸和	オリンピック	坂本 裕章	北の杜	峯澤 克之	メイプルポイント	竹井 輝雄	昇仙峡
8	8:33	柳澤 進	富士川	渡辺 勝明	富士レイクサイド	藤本 正三	都	武井 達郎	甲府国際
9	8:42	赤池 祐三	ヴァンテージ	岡部 敏男	春日居	望月 明	甲斐ヒルズ	大間 正	昇仙峡
10	8:51	古屋 浄	都	寺田 彰	秋山	春名 和彦	上野原	佐野 三彦	春日居
11	9:00	若林 一男	富士レイクサイド	谷 重次	境川	初川 輝純	メイプルポイント	石井 米二郎	中央都留
12	9:09	伊東 正弘	ヴァンテージ	武藤 俊治	北の杜	田中 正則	河口湖	荻野 英治	富士川
13	9:18	太田 正人	甲府国際	和田 稔	都留	向井 輝巳	オリンピック	望月 武昭	甲斐ヒルズ
14	9:27	内田 道夫	境川	吉田 薫	都留	高橋 幸通	上野原	西森 勇蔵	北の杜
15	9:36	平澤 天志	メイプルポイント	杉山 一幸	富士川	山口 栄	都	向山 英世	ヴァンテージ
16	9:45	山田 寛	河口湖	長田 章	秋山	臼井 薫	中央都留	白浜 茂靖	オリンピック
17	9:54	桑田 裕治	昇仙峡	若井 洋一	富士レイクサイド	河野 晃	甲府国際	原 豊造	春日居

10番よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
18	7:30	須長 雄介	甲斐ヒルズ	雨宮 喜久	富士川	奥山 勝大	中央都留	岩間 靖典	春日居
19	7:39	早川 友己	メイプルポイント	上條 英二	秋山	立澤 竹則	甲府国際	阿久津 司郎	北の杜
20	7:48	山口 育生	河口湖	田中 秀司	富士レイクサイド	守屋 満	上野原	手塚 大輔	昇仙峡
21	7:57	内田 進	都留	手塚 浩司	ヴァンテージ	小田切 真一	境川	島貫 竜一	都
22	8:06	上條 覚	オリンピック	望月 圭	甲斐ヒルズ	藤本 武彦	秋山	三吉 章雪	上野原
23	8:15	岩橋 雅一	富士レイクサイド	市原 敏隆	メイプルポイント	若林 忠司	ヴァンテージ	辺土名 芳彦	河口湖
24	8:24	柴田 修	昇仙峡	森屋 智之	オリンピック	平林 浩二	都留	古屋 司	都
25	8:33	永田 淳一	春日居	横内 応佳	境川	山口 大介	中央都留	谷川 幸仁	北の杜
26	8:42	二宮 啓太	富士川	藤本 和博	甲府国際	武井 巖	甲斐ヒルズ	渡辺 均	富士レイクサイド
27	8:51	富樫 芳樹	春日居	大橋 祐樹	メイプルポイント	大津 仁利	都留	小林 賢三	オリンピック
28	9:00	赤坂 昇	都	香取 浩一朗	河口湖	林 博夫	北の杜	赤池 正隆	昇仙峡
29	9:09	相原 吉正	中央都留	親松 久幸	境川	権守 範郁	甲府国際	望月 寿朗	富士川
30	9:18	倉橋 秀明	上野原	渡邊 隆司	秋山	高橋 昌美	ヴァンテージ	清水 誠一	甲斐ヒルズ
31	9:27	杉山 由紀彦	北の杜	福村 克浩	都留	塩谷 孝光	メイプルポイント	山村 禎彦	都
32	9:36	渡邊 初男	中央都留	四分一 武	河口湖	望月 正志	昇仙峡	加々美 秀紀	甲府国際
33	9:45	小林 收	境川	金子 成一	上野原	望月 道晃	富士川	藤原 正貴	ヴァンテージ
34	9:54	丸山 竜児	秋山	比留間 秀明	オリンピック	田中 博幸	富士レイクサイド	和田 司郎	春日居

競技委員長 大橋正明

平成 29 年度 関東倶楽部対抗山梨会場予選競技

開催日 : 5 月 15 日(月)

開催コース : メイプルポイントゴルフクラブ

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ(規則 27-1)

アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。

2. ウォーターハザード、ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)

ウォーターハザードは黄杭または黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

3. 修理地(規則 25-1)

修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。ただし、次のものを含む。

- (a) パッティンググリーンの前後のペイントマークを含み、スルーザグリーンの芝草を短く刈った区域にあるヤーデージマーキングペイント(スタンスへの障害は除く)。
- (b) スルーザグリーンの張り芝の継ぎ目(スタンスへの障害は除く)

4. 動かさない障害物(規則 24-2)

- (a) 排水溝
- (b) 人工の表面を持つ道路に接した排水溝、縁石および枕木(その道路の一部とみなす)
- (c) 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
- (d) 枕木で構築された階段および歩経路
- (e) 黄黒の縞杭(本競技には適用しない)
- (f) 距離標示用の人工のヤーデージマーク

5. コースと不可分の部分

- (a) ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
- (b) コースの法面を保護している枕木。

6. ホールとホール間の白杭

8 番と 1 番ホール及び 8 番と 7 番ホール間の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。

7. 指定ドロップ区域

14 番ホールにおいて、球がグリーン右手前のローピングで囲まれた修理地に入った場合、プレーヤーは、罰なしに、指定ドロップ区域にその球をドロップすることができる(付属規則 I(A)6 を適用する。ゴルフ規則 173 ページ参照)。

8. パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること

規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。

プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。

注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態ではリプレースしなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。

距離表

Hole No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AクラスYards	524	385	162	319	356	397	503	165	381	3192
BクラスYards	552	397	162	362	370	422	524	190	433	3412
Par	5	4	3	4	4	4	5	3	4	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
511	378	173	361	334	403	157	335	543	3195	6387
533	414	201	403	349	403	188	365	556	3412	6824
5	4	3	4	4	4	3	4	5	36	72

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

プレーの即時中断 : 1 回の長いサイレン

プレーの中断 : 連続する 3 回の短いサイレン(繰り返し)

プレーの再開 : 2 回の短いサイレン(繰り返し)

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

8. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

9. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外にもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コインを限度とする。
5. アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。

競技委員長 大橋 正明